

2025年4月17日

中国地域の経済動向

(2025年2月の指標を中心に)

～持ち直しの動きに足踏み感がみられる～

中国地域の経済は、生産は横ばい傾向、個人消費は持ち直しの動きに足踏み感がみられる、雇用は有効求人倍率は前月に比べ上昇、新規求人数は前年同月比で減少など、全体として、持ち直しの動きに足踏み感がみられる。

※当局ホームページ (<https://www.chugoku.meti.go.jp>) にも同様の資料を掲載しております。

■項目別の動向

1. 生産動向・・・横ばい傾向

別添 中国地域鉱工業生産動向参照

2. 個人消費・・・持ち直しの動きに足踏み感がみられる

別添 中国地域百貨店・スーパー販売動向参照

3. 雇用・・・有効求人倍率は前月に比べ上昇、新規求人数は前年同月比で減少

4. 景況感・・・現状、先行きともに前月に比べ低下

5. 貿易・・・輸出、輸入ともに前年同月比で減少

6. 建設動向・・・公共工事、住宅建設ともに前年同月比で減少

7. 企業倒産・・・件数は前年同月比で減少、負債総額は前年同月比で増加

8. 設備投資・・・2024年度実績は前年度を上回る見込み

※各項目の詳細については、次頁以降を参照してください。

※基調における下線は、前回からの変更箇所です。

※雇用の新規求人数は今月から原数値に変更しました。

(本発表資料のお問合せ先)

総務企画部企画調査課長 中野 伸二

電話: 082-224-5633

メール: bzl-chugoku-chosa@meti.go.jp

1. 生産動向 ～横ばい傾向～

(中国地域鉱工業生産動向 2025年2月 速報)

2025年2月の鉱工業生産指数は 103.5、前月比 2.9%の上昇となった(2020年=100、季節調整済)。出荷は上昇、在庫は低下、在庫率は上昇となった。

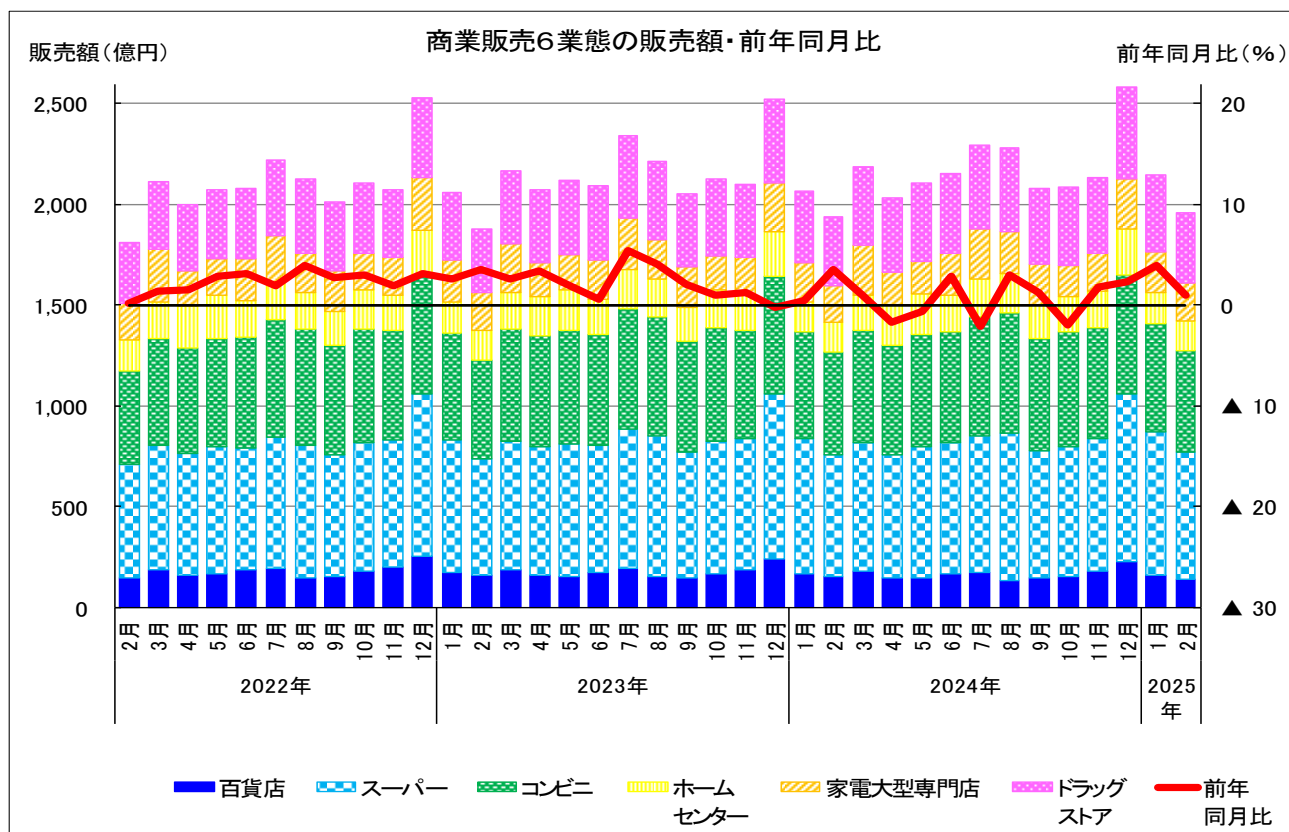
2. 個人消費 ～持ち直しの動きに足踏み感がみられる～

2月の商業6業態の販売額は1,960億円で、前年同月比1.0%と4か月連続で前年を上回った。

2月の乗用車新車登録・届出数は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車が前年同月を上回り、合計では前年同月比23.0%と2か月連続で前年を上回った。また、2月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)は前年同月比3.1%の上昇となった。

(1)商業6業態(2月)

		(百万円)			(全店舗、%)
(6業態における構成比)		販売額	前年同月比		(前月の前年同月比)
6業態		196,005	1.0	4か月連続 プラス	(3.9)
百貨店・スーパー		77,397	2.4	4か月連続 プラス	(3.7)
百貨店	(7.2%)	14,048	▲ 8.9	18か月連続 マイナス	(▲ 5.1)
スーパー	(32.3%)	63,348	5.4	4か月連続 プラス	(5.9)
コンビニエンスストア	(25.6%)	50,265	▲ 1.3	7か月ぶり マイナス	(2.1)
ホームセンター	(7.5%)	14,673	▲ 2.0	4か月ぶり マイナス	(2.1)
家電大型専門店	(9.5%)	18,690	4.4	4か月連続 プラス	(3.6)
ドラッグストア	(17.8%)	34,980	0.7	38か月連続 プラス	(8.1)



- ・百貨店の販売額は140億円で、前年同月比▲8.9%と18か月連続で前年を下回った。
- ・スーパーの販売額は633億円で、前年同月比5.4%と4か月連続で前年を上回った。
- ・コンビニエンスストアの販売額は503億円で、前年同月比▲1.3%と7か月ぶりに前年を下回った。
- ・ホームセンターの販売額は147億円で、前年同月比▲2.0%と4か月ぶりに前年を下回った。
- ・家電大型専門店の販売額は187億円で、前年同月比4.4%と4か月連続で前年を上回った。
- ・ドラッグストアの販売額は350億円で、前年同月比0.7%と38か月連続で前年を上回った。

(単位: 百万円、%)

	百貨店			スーパー			コンビニエンスストア		
	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数
2022年	213,575	3.2	13	763,978	2.1	328	651,000	2.6	3,065
2023年	211,271	▲ 1.1	13	793,196	3.8	328	665,865	2.3	3,066
2024年	197,780	▲ 6.4	12	800,298	0.9	330	670,147	0.6	3,056
2024年2月	15,428	▲ 3.2	12	60,129	3.7	327	50,948	4.2	3,053
3月	17,801	▲ 5.2	12	64,164	1.1	328	55,301	▲ 1.0	3,050
4月	14,527	▲ 10.4	12	61,479	▲ 3.3	328	54,118	▲ 1.3	3,050
5月	14,865	▲ 5.2	12	64,678	▲ 1.5	329	56,212	▲ 0.3	3,045
6月	16,684	▲ 4.8	12	65,326	3.8	330	54,873	▲ 0.3	3,044
7月	17,397	▲ 11.3	12	67,755	▲ 2.1	330	59,046	▲ 0.2	3,051
8月	13,685	▲ 10.7	12	72,539	4.3	330	60,278	1.0	3,053
9月	14,473	▲ 3.5	12	63,122	1.2	330	55,695	1.2	3,054
10月	15,470	▲ 8.1	12	64,509	▲ 2.1	329	56,940	1.0	3,056
11月	17,839	▲ 5.7	12	66,307	2.5	329	54,598	1.7	3,056
12月	22,727	▲ 5.2	12	83,319	1.5	330	59,325	2.1	3,056
r 2025年1月	16,022	▲ 5.1	12	70,946	5.9	336	53,899	2.1	3,052
p 2月	14,048	▲ 8.9	12	63,348	5.4	336	50,265	▲ 1.3	3,060

	ホームセンター			家電大型専門店			ドラッグストア			商業6業態 計	
	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比	店舗数	販売額	前年(同月)比
2022年	224,042	▲ 1.2	403	247,359	▲ 1.4	181	415,822	6.0	971	2,515,776	2.3
2023年	219,575	▲ 2.0	403	241,928	▲ 2.2	177	442,477	6.4	1,015	2,574,312	2.3
2024年	218,856	▲ 0.3	402	239,785	▲ 0.9	176	468,122	5.8	1,045	2,594,988	0.8
2024年2月	14,976	0.7	402	17,899	▲ 3.7	176	34,735	11.1	1,019	194,115	3.5
3月	17,971	▲ 0.8	403	24,593	1.9	176	38,800	7.4	1,025	218,630	1.0
4月	19,954	▲ 0.3	403	16,112	▲ 3.0	176	37,402	4.2	1,027	203,592	▲ 1.7
5月	19,849	0.2	403	16,241	▲ 7.6	176	38,552	5.2	1,030	210,397	▲ 0.6
6月	18,196	2.2	403	21,021	10.6	176	39,118	6.0	1,029	215,218	2.9
7月	18,999	▲ 3.6	403	24,469	▲ 4.9	176	41,691	2.3	1,032	229,357	▲ 2.1
8月	19,270	5.4	403	20,735	5.7	176	41,715	6.8	1,036	228,222	3.0
9月	16,828	1.5	403	19,968	0.3	176	37,822	3.7	1,038	207,907	1.2
10月	17,272	▲ 8.0	400	15,664	▲ 5.3	174	38,800	1.5	1,038	208,656	▲ 1.9
11月	18,061	0.9	401	19,028	1.9	176	37,818	4.6	1,043	213,651	1.7
12月	22,387	0.2	402	24,695	0.8	176	45,938	10.6	1,045	258,390	2.3
r 2025年1月	15,411	2.1	401	20,055	3.6	176	38,632	8.1	1,047	214,965	3.9
p 2月	14,673	▲ 2.0	400	18,690	4.4	176	34,980	0.7	1,051	196,005	1.0

注1: p は速報値、rは確報値。ただし、2024年分は年間補正値。

注2: 百貨店、スーパー及び商業6業態の販売額は、単位未満を四捨五入しているため、内数の計と合計が一致しない場合がある。

注3: 表中の数値は全店ベースの数値。

参考：広島市の気温

対平年▲2.1℃ 対前年▲4.3℃

★★2025年2月の動き（各店舗の声から）★★

【百貨店】

うるう年だった前年と比べて1日少ない影響があるほか、昨年好調だった美術品が振るわなかった。また、気温低下により春物が動かず衣料品が低調だった。そのほか、飲食料品は物価高による節約志向で葉物野菜、鮮魚が低調だった。一方、バレンタインは好調だった。

【スーパー】

価格上昇により青果、米の売上が増加したほか、野菜ジュース、カット野菜、冷凍食品が好調だった。また、物価高による節約志向でハーフサイズの恵方巻や手作りバレンタイン用の製菓材料が好調だった。そのほか、気温低下と新生活需要により寝具に良い動きがみられた。

【コンビニエンスストア】

うるう年だった前年と比べて1日少ない影響があるほか、気温低下によりチルド飲料、アイスが低調だった一方、ホット飲料、温かい麺、カイロが好調だった。また、販売促進効果と割安感でおいぎりが好調だった。

【ホームセンター】

節約志向によりDIY用品、インテリアが低調だった。また、気温低下により苗物や資材などの園芸用品、塗料が低調だったが、灯油やファンヒーターなどの暖房用品は好調だった。

【家電大型専門店】

気温低下によりエアコンが好調だったほか、最新機種が好調だった携帯電話に良い動きがみられた。また、新生活需要によりパソコンが好調だった。

【ドラッグストア】

価格上昇により米の売上が増加した。また、気温低下によりハンドクリーム、リップなどの保湿系の化粧品、カイロが好調だった。一方、花粉の飛散が遅く鼻炎薬、目薬が低調だった。そのほか、インフルエンザの流行が落ち着き、マスクが低調だった。

(2)乗用車新車登録・届出数

(前年同月(期)比%)

		2022年	2023年	2024年	2024年 4-6月	7-9月	10-12月	2024年 11月	12月	2025年 1月	2月
乗用車新車登録・届出数	中国	▲ 5.9	15.5	▲ 8.7	▲ 10.1	1.2	▲ 1.2	▲ 1.5	▲ 7.4	20.1	23.0
	普通乗用車							8.2	▲ 0.6	14.7	7.2
	小型乗用車							▲ 4.1	▲ 22.0	27.3	49.7
	軽乗用車							▲ 8.9	▲ 6.2	22.4	29.3
	全国	▲ 6.2	15.8	▲ 6.7	▲ 6.9	1.2	▲ 3.2	▲ 3.9	▲ 7.0	15.0	18.9

(中国運輸局資料をもとに当局作成)

(3)消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)

(2020年基準・前年同月(期)比%)

		2022年	2023年	2024年	2024年 4-6月	7-9月	10-12月	2024年 11月	12月	2025年 1月	2月
消費者物価指数	中国	2.4	3.1	2.4	2.3	2.6	2.6	2.6	3.0	3.3	3.1
	全国	2.3	3.1	2.5	2.4	2.6	2.6	2.7	3.0	3.2	3.0

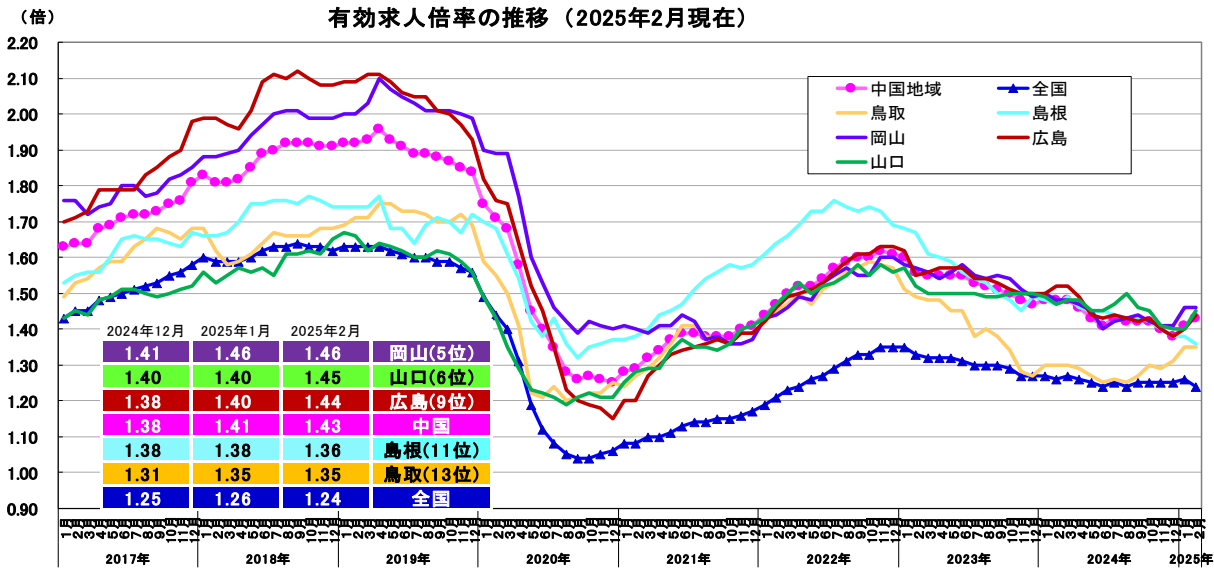
(資料 総務省 ※中国地域四半期は当局計算値)

3. 雇用 ～有効求人倍率は前月に比べ上昇、新規求人数は前年同月比で減少～

2月の有効求人倍率は、1.43倍で前月の値を0.02ポイント上回った。また、新規求人数(原数値)は、前年同月比▲4.9%で4か月連続の減少となった。

		2022年	2023年	2024年	2024年 4-6月	7-9月	10-12月	2024年 11月	12月	2025年 1月	2月
有効求人倍率※1	中国	1.55	1.53	1.43	1.43	1.42	1.40	1.40	1.38	1.41	1.43
	全国	1.28	1.31	1.25	1.25	1.24	1.25	1.25	1.25	1.26	1.24
新規求人数	中国	63,735	62,265	58,634	56,792	57,141	58,431	56,426	56,157	63,414	59,074
		10.8	▲ 2.3	▲ 5.8	▲ 7.7	▲ 6.0	▲ 4.7	▲ 7.2	▲ 7.3	▲ 1.8	▲ 4.9
上段:人(原数値)	全国	866,369	866,937	836,071	814,381	814,174	837,457	802,467	790,791	907,161	840,398
下段:前年(同期・同月)比%		10.8	0.1	▲ 3.6	▲ 4.2	▲ 3.8	▲ 1.6	▲ 2.6	▲ 3.7	▲ 0.4	▲ 5.9
完全失業率※2	中国	2.2	2.1	2.2	2.5	2.1	2.0	—	—	—	—
	全国	2.6	2.6	2.5	2.7	2.6	2.3	2.5	2.5	2.5	2.4

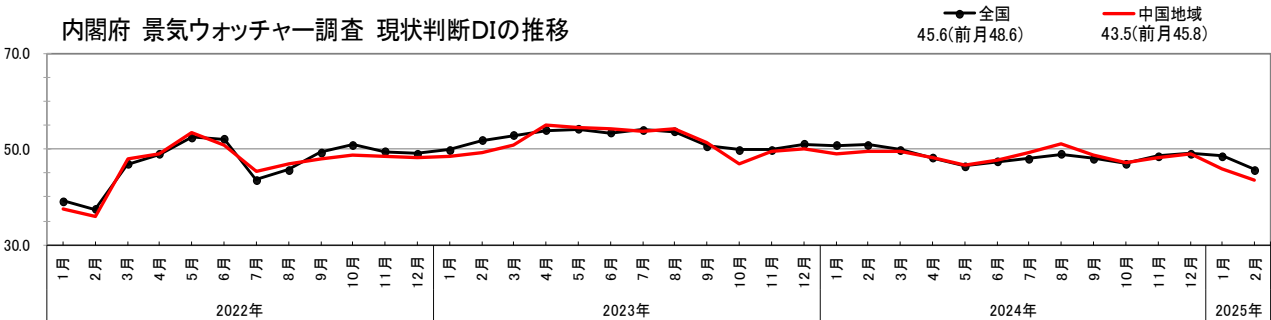
(資料: 厚生労働省、総務省 ※有効求人倍率の中国地域年・四半期、新規求人数の中国地域、新規求人数全国前期比は当局計算値)



(資料: 厚生労働省)

4. 景況感 ～現状、先行きともに前月に比べ低下～

内閣府の景気ウォッチャー調査(令和7年2月調査結果)によると、中国地域の3か月前と比較しての景気の現状に対する判断DI(方向性)は43.5となり、前月差2.3ポイントの低下となった。
2～3か月先の景気の先行きに対する判断DIは45.5となり、同1.9ポイントの低下となった。



(資料: 内閣府)

※1 年は原数値。月、四半期は季節調整値。年、四半期は平均。

※2 年、四半期は原数値。月は季節調整値

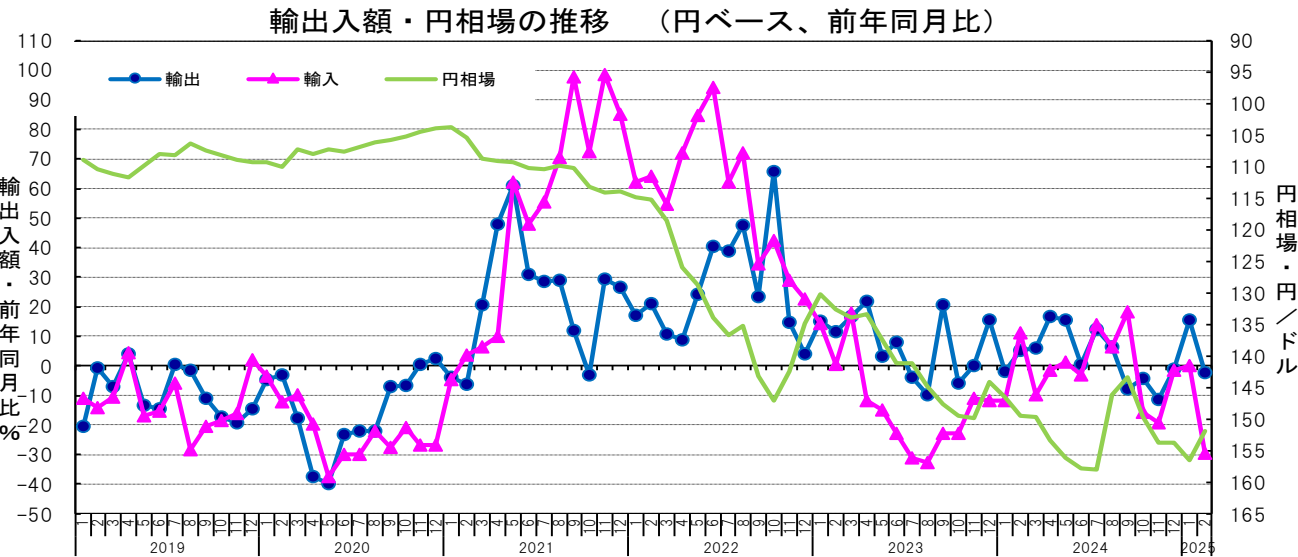
5. 貿易 ～輸出、輸入ともに前年同月比で減少～

2月の輸出は、前年同月比▲2.1%と2か月ぶりに前年を下回った。品目別では、船舶、鉄鋼などが前年を下回った。地域別では、アフリカ、西欧向けなどが前年を下回った。
2月の輸入は、前年同月比▲29.5%と2か月ぶりに前年を下回った。品目別では、金属鉱及びくず、原油及び粗油などが前年を下回った。

(通関ベース、円ベース、前年同月(期)比%)※4

			2022年	2023年	2024年	2024年			2024年		2025年	
						4-6月	7-9月	10-12月	11月	12月	1月	2月
輸出	総合	中国地域	25.3	6.9	2.7	10.3	3.2	▲ 5.4	▲11.4	▲0.9	15.4	▲2.1
		全国	18.2	2.7	6.2	8.8	4.5	3.2	3.8	2.7	7.3	11.4
	自動車(中国地域)※3		18.9	34.2	▲ 3.2				▲27.0	▲16.8	18.3	8.7
	鉄鋼(中国地域)※3		36.3	▲ 12.9	▲ 5.0				▲9.4	▲1.0	1.2	▲12.6
輸入	総合	中国地域※3	55.1	▲ 14.0	▲ 1.8	▲ 1.0	12.9	▲ 12.1	▲19.3	▲1.4	0.1	▲29.5
		全国※3	39.6	▲ 6.8	2.0	7.0	6.8	▲ 0.5	▲3.8	1.8	16.3	▲0.7
	原粗油(中国地域)※3		79.0	▲ 23.4	▲ 20.9				▲38.6	▲27.0	▲13.5	▲35.4
	石炭(中国地域)※3		182.5	▲ 21.8	▲ 19.8				▲13.4	10.2	▲19.5	▲17.2
為替※5		円/ドル	131.38	140.48	151.48	155.79	149.22	152.36	153.72	153.72	156.49	151.96

(資料：財務省、日本銀行 ※四半期、中国地域の品目は当局計算値))



※3 月次は速報値。
※4 数値は確報、確々報、確定報により修正されることがある。
※5 為替は東京インターバンク相場(スポット 月中平均 中心、日本銀行公表)

6. 建設動向 ～公共工事、住宅建設ともに前年同月比で減少～

2月の中国地域の公共工事請負金額は、国、独立行政法人等、県、市町村、その他公共的団体すべてで前年を下回った。合計では前年同月比▲26.7%と9か月連続で前年を下回った。

2月の新設住宅着工戸数は、持家、給与住宅、分譲住宅で前年を下回った。合計では前年同月比▲12.4%と2か月連続で前年を下回った。

		(前年同月(期)比%)									
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年			2024年		2025年	
					4-6月	7-9月	10-12月	11月	12月	1月	2月
公共工事請負金額	中国	▲ 4.8	▲ 0.3	8.8	11.2	▲ 13.0	▲ 10.0	▲ 14.4	▲ 18.1	▲ 9.2	▲ 26.7
	全国	▲ 8.6	▲ 0.4	5.3	8.8	2.2	1.2	4.6	▲ 5.7	▲ 1.3	▲ 22.5
新設住宅着工戸数 ^{※6}	中国	9.4	▲ 0.3	▲ 12.4	▲ 14.0	▲ 7.2	4.4	0.8	33.5	▲ 16.6	▲ 12.4
	全国	6.6	▲ 0.6	▲ 7.0	0.5	▲ 2.0	▲ 2.4	▲ 1.8	▲ 2.5	▲ 4.6	2.4

(資料:「公共工事請負金額(中国地域)」(西日本建設業保証(株)広島支店)、「同(全国)」(北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株))「新設住宅着工戸数」(国土交通省)
※公共工事請負金額・新設住宅着工戸数の四半期は当局計算値)

7. 企業倒産 ～件数は前年同月比で減少、負債総額は前年同月比で増加～

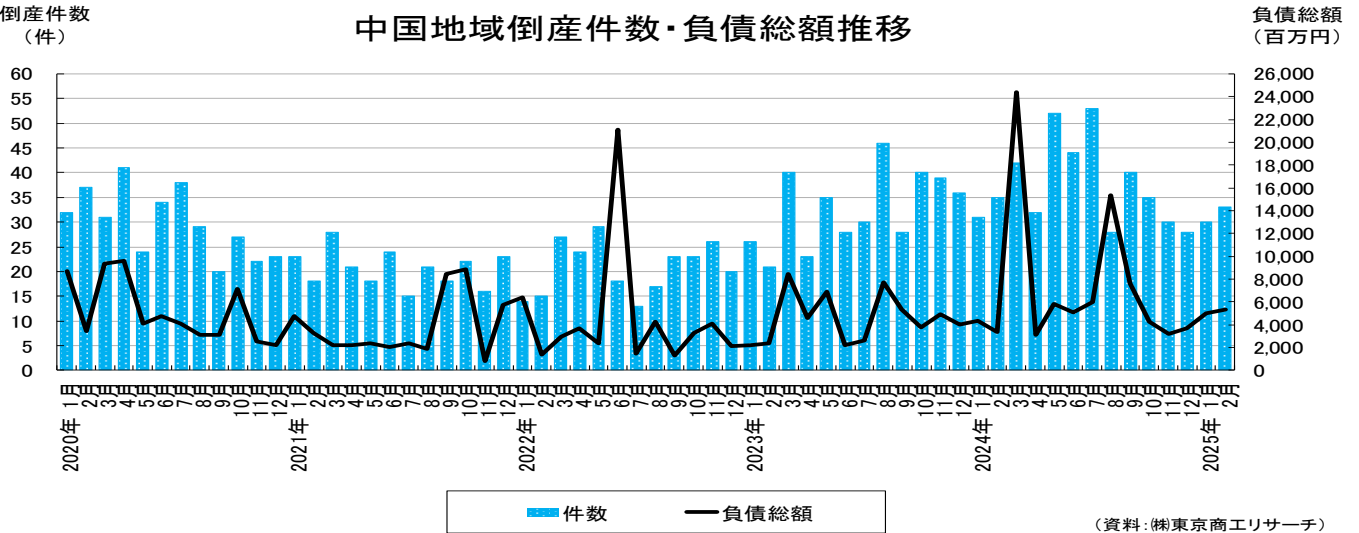
2月の企業倒産件数は33件で、前年同月比▲5.7%と5か月連続で前年を下回った。また、負債総額は53億3,200万円で、前年同月比58.2%と2か月連続で前年を上回った。

業種別にみると、建設業が10件、製造業、サービス業他が6件、小売業が5件などとなった。

原因別にみると、販売不振が27件、既往のシワ寄せ、設備投資過大が2件などとなった。

		(前年同月(期)比%)									
		2022年	2023年	2024年	2024年			2024年		2025年	
					4-6月	7-9月	10-12月	11月	12月	1月	2月
企業倒産件数	中国	0.8	57.4	14.8	48.8	16.3	▲ 19.1	▲ 23.1	▲ 22.2	▲ 3.2	▲ 5.7
	全国	6.6	35.2	15.1	25.2	10.9	7.6	4.2	4.0	19.8	7.3
負債総額	中国	20.6	1.2	56.6	1.8	85.3	▲ 11.6	▲ 34.1	▲ 8.8	15.2	58.2
	全国	102.6	3.1	▲ 2.5	▲ 43.2	5.5	20.0	68.9	88.0	53.5	22.7

(資料: (株)東京商工リサーチ ※小数点以下第2位で四捨五入した値 四半期は当局計算値)



(資料: (株)東京商工リサーチ)

※6 数値は公表元の修正にあわせて修正されることがある。

8. 設備投資 2024年度実績は前年度を上回る見込み

日本銀行広島支店の企業短期経済観測調査結果(2025年3月)によると、2024年度の設備投資計画(含む土地投資額)は、製造業が前年度比12.5%、非製造業が同28.7%となり、全産業では同20.3%となっている。

◆企業短期経済観測調査結果(2025年3月調査)

設備投資額(含む土地投資額) (前年度比・%)

		2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績見込み	2025年度 計画
中国	全産業	9.3	5.9	20.3	5.7
	製造業	2.5	3.1	12.5	12.6
	非製造業	18.3	8.9	28.7	▲ 0.9
全国	全産業	9.2	10.6	8.1	0.1
	製造業	9.0	6.7	11.6	5.4
	非製造業	9.3	12.8	6.2	▲ 2.9

(資料: 日本銀行、同広島支店)

